



福井の名所探訪②

三国花火大会（坂井市）

北陸最大との評判も高い花火大会は、毎年8月11日 三国サンセットビーチを舞台に絢爛豪華に繰り広げられ、なかでも水中花火は三国花火の名物です。真夏の夜のひととき、音と光のファンタジーを見に県内外から多くの人が訪れます。

理 念

高齢期の方々の尊厳を踏まえ、こころ温まる医療の提供と地域から愛される病院を目指します。

基本方針

- ①認知症疾患の特性を踏まえ、個性の高い医療と温かみのある療養の提供
- ②認知症に関する介護教育と啓発活動の充実
- ③地域の医療・保健・福祉との一層の連携と協働
- ④働きがいのある職場づくり
- ⑤職員一人ひとりが自覚し、健全な病院運営への努力

患者様の権利に関する宣言

- ①最善の医療を平等に受ける権利
- ②選択および自己決定する権利
- ③意識のない患者様および法的能力のない患者様の権利
- ④患者様の意思に反する処置・治療
- ⑤十分な説明を受ける権利
- ⑥情報開示を求める権利
- ⑦個人情報およびプライバシーを保護される権利
- ⑧健康教育を受ける権利
- ⑨個人の尊厳を守る権利
- ⑩宗教的支援を受ける権利
- ⑪退院後も治療や福祉を受ける権利
- ⑫より良い環境で治療を受ける権利
- ⑬通信・面会を自由に行う権利
- ⑭退院や処遇改善の請求を行う権利

福井県立すこやかシルバー病院の 二十年の歩み

—これまでの二十年間をふり返り、
そして、これからをみつめて—

院長 伊藤 達彦

二十世紀末に開院し、はや20年間が経過した。この月日の流れの中で、仕事面でも私的にも多くの事を経験させてもらった。人の往来も、沢山にあった。随分と懐かしき感がある。ちなみに、外来を利用して頂いた方々は総数で7,000人程である。

以前は痴呆のヒトと称し、今では「認知症（あまり適切な言葉ではないと思っているが）のヒト」といっている。ご本人とご家族とどのように付き合い、どのようにすればその不安なるものを些少とも軽減できるであろうかと思いながら接する事が^{かなめ}要なんだと益々感ずるようになってきている。

さて、20年前のわたしと現在の自己を眺めながら、本テーマである「すこやかシルバー病院（以下、当院とする）の二十年」を概観してみようと思う。20年前の自分は、やはり、若かったと思う。もちろん、還暦を過ぎた^{いま}現在の自分と比較してである。まさに、歳月は人を待たずである。もっともっと、いろんなところに出掛け、多くの事を学ぶべきであったと思う。しかし、いまの方が外来を利用されている方々に寄添っているような感じがする。その理由^{わけ}は、明日のわたしに重ね描きをしながら診ようとしている自己があるからである。以前は、多くの意味で^{おご}奢っていたのかも知れない。

当時の世の中の高齢化率は12%で、現在では25%超にある。75歳以上の後期高齢者も6%弱、いまでは12%程度にある。ともに、飛躍的な伸びとなっている。

当院への関わりは、まだ実体のない時期であった平成5年のあたりではなかったかと思われる。この時点では、福井県立精神病院（現在、福井県立病院こころの医療センター）勤務中であったが、当時の福井医科大学精神医学教室の伊崎公德教授より何らかの指示を受けている。快諾したのかなと勝手に思っている。

平成7年（1995年）は、知事選のため実際の赴任は5月15日である。旧丹生郡清水町の病院

に来てみて驚いた事が一杯あった。いまでは、『健康の森』なる名称で多くの「健康であり続けるためのゾーン」が完備されている。しかし、当時は名称先行の感であり、健診センターと多目的グラウンド等があるだけであった。病院に着くためには、結構に急峻な登り道をあがり、到着。勿論の事、融雪装置はあろうはずもなかった。なんとか、病院に到着。その建物は、大きくゆったりの印象。病棟は、やたらだだっ広く、当時の流行の回廊式にあった。不謹慎なのだが、キャッチ・ボール可との確信にあった。

スタッフの陣容は、辻幸江院長、村田一郎医長、県立病院より出向の看護師達とプロパー職員（看護師、看護助手、作業療法士、放射線技師、臨床検査技師、事務職員等々）、総勢45名超だったと思う。皆、若かった。平均年齢、20代であろう。現在では、考えられない。さらに、大学からは錚々たる先生方、精神科からは確か3か月毎に若い先生方が応援に来ていただく前途洋々の始まりを迎える流れにあった。

当院の使命は、「認知症のヒト」に関する『介護教育』と『診療』の二つが柱であった。開院までの1か月間で、必死に多くの事を決めた。

そして、7月1日、外来と病棟、ディ・ケアの実務開始。慣れない事が多く、どのように高齢の認知症の方々に付き合えばよいのか悩ましかった。平成10年代の初めには、地元での認知症に関する啓発事業も一生懸命にやらせてもらった。全て手作りであった。その後も、長きにわたり大学からも多くの手助けを頂く事ができた。常勤医師が4人体制にあり、当直も大学からのバックアップを頂いた。平成16年の新医師臨床研修制度開始以降を思うと、何と贅沢、向後ともあり難き事と思う。

さて、少しばかり我が国の高齢者に関するさまざまな変遷について言及してみる。開院一年前の平成6年に「新ゴールドプラン」、その5年後に「ゴールドプラン21」が策定。それらに対応して、平成12年には介護保険法が実施。これらの矢継ぎ早の実施は、国も真剣に高齢者を考えなければならなかったという事と考える。いまでは、団塊の世代が75歳以上になる2025年（平成37年）を踏まえての直近に策定された「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者にやさしい地域づくりに向けて～」（新オレンジプラン）である。超高齢者社会という世の流れの中で当院の当初よりの使命を持続するためには、ますます地域に必要とされる保健・医療・福祉との関わりを大切にしながらの前進を続けることにあると考える。

最後になりますが、無事20周年を迎えることができましたのは、これまで病院を支えて下さった多くの職員の皆さん、県関係の方々や地域の方々等の温かき支援があったからと思い、心より感謝いたします。

これからも、あらたな未来をみつめて、多くの夢と希望を抱きながら地域に根ざした認知症にかかわる医療を目指し、邁進するつもりです。

家族は今…

ピック病の母とともに

H・N

母は、料理上手でいつも元気で明るく、孫の運動会で他のおじいちゃんおばちゃんに大きく差をつけゴールしてしまうおばあちゃんでした。なので、地元の友人に会うと「元気に自転車こいでなったわ」とうらやましがられ、母のようなタイプはコロッと逝く、母自身もそう思い、それが口癖でした。

しかし、いつのころか同居の兄から私の記憶の母とは違う行動をする母の様子を聞くようになりました。何かの間違いではないのか…。とてもすぐには信じられませんでした。思い返せば、必要の無いものを購入したりすることからが今の病気の始まりだったように思います。

ある日、実家へ泊まりに行った際、現実を目の当たりにしました。母だけではなく、認知症の始まっていた父。二人の面倒に、深夜を問わず世話をする兄夫婦。このままでは、兄の家族がつぶれてしまうと感じました。どこかいい病院を知らないかとの兄からのSOSを受け、私は友人に相談をしました。そこで紹介されたのがすこやかシルバー病院でした。

初診の時、母の脳の状態の説明を受け、受け入れなくてはならない現実を知りました。初めて聞く病名でした。辛いけれど治療のため兄と協力し入院手続き。その後、父の相談と治療。父も即入院を勧められました。

母は、祖母の最後を看取るまで自宅で看病していましたし、元気な母から脳の病気で入院することは想像だにしていませんでしたので、両親二人の入院は私たち兄妹にとって辛い選択でした。

初診から今まで、両親の病気の進行を見てきました。洗濯物を週2回。兄は平日、私は週末担当とし毎週様子を見てかれこれ5年は経つのでしょうか。容態が落ち着くことはあるけれど、良くはならない。会話は成り立たないのに、私の顔を見ると喜び、今の私たちの様子を心配するような語りかけをする。会いに行った時間が夕方だと「早く帰るように」促す。「もう何時だから学校から帰ってくるころや…」ということも。母の中で、子育て孫育てが大きな役割だったと気づかされ、育ててくれた感謝の思いが増します。

二人同時期に退院し、地元の介護施設に入所し、父は現在まで穏やかにその施設で過ごしていますが、母だけ再びこちらに再入院しています。父母は認知症の病名が異なっているためか、面会時の表情や話しかけた時の反応がそれぞれに違います。人格が変わってしまう母の病気の進行を見続けていくことは正直未だに慣れません。病院を紹介してくれた友人がくれた「誰も好きで病気になるのではない」という言葉と、専門の知識を勉強され、いつも優しく的確な対応をしてくださる職員の方々に支えられ今日まで来ています。

両親二人一緒に入所していた頃、母は父を気にかけてよく一緒に過ごしていましたので、またいつか父母が一緒に過ごせる日が来ることを願って止みません。

これからも病院職員の方々の支えを頂きながら、兄と協力し母を見ていきたいと思っています。

職員の皆様、いつも大変お世話になり本当にありがとうございます。



日 時

平成27年
12月5日(土)
14:00～17:00

会 場

福井県生活学習館
(ユー・アイふくい)
多目的ホール

1部講演

「脳と幸福

～イキイキと生きるための秘訣～

誰もが幸せを感じながら日々の生活を送りたい、人生を輝かせたいと願う。幸せについての探求は、脳科学の世界でも最新にしてホットなテーマである。一般の生活の中でいかにして幸せを得ながら、いつまでも脳を生き生きと保つ最良のアンチエイジングの秘訣を最新脳科学と自身の体験をもとに語る。

2部フォーラム

「これからの認知症

～認知症早期受診をめざして～



公益財団法人
松原病院
代表理事
松原 六郎氏

医療法人
敦賀温泉病院
理事長・院長
玉井 顯氏



福井県立すこやか
シルバー病院
院長
伊藤 達彦



コーディネーター

福井テレビアナウンサー
福田 布貴子氏

福井県立すこやかシルバー病院 20周年記念講演会



講 師

茂木 健一郎氏(脳科学者)

脳科学者。1962年10月20日東京生まれ。東京大学理学部、法学部卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現在に至る。

専門は脳科学、認知科学。「クオリア」(感覚の持つ質感)をキーワードとして脳と心の関係を研究するとともに、文藝評論、美術評論などにも取り組みながら、作家、ブロードキャスターとしても活躍の幅を広げている。

2005年、『脳と仮想』で第四回小林秀雄賞を受賞。

2009年、『今、ここからすべての場所へ』で第12回桑原武夫学芸賞を受賞。

2006年1月～2010年3月、NHK『プロフェッショナル 仕事の流儀』キャスター。

主 催

(一財)認知症高齢者医療介護教育センター
福井県立すこやかシルバー病院

後 援

福井すこやかかたろう会・福井新聞社・福井テレビ

参加無料

定員700名に達し次第、申し込み受け付けを終了いたします。

【お問い合わせ】 福井県立すこやかシルバー病院 TEL(0776)98-2700

はじめまして!!



新入職員紹介



医長
村田 憲治

4月1日よりすこやかシルバー病院に勤務しております、村田憲治です。新入職員ということで、自己紹介をさせていただきます。

私は、福井医科大（現福井大学）医学部を卒業後、いくつかの精神科病院勤務を経て、平成15年4月から今年3月までの12年間福井県済生会病院精神科に勤務していました。済生会病院精神科は、外来のみのいわゆる無床精神科で、毎日一日中診察室に篋って、外来患者と、他科から依頼のあった入院患者の診察をこなしていました。

認知症診療につきましては、平成17年10月に物忘れ外来を開設し、以後、済生会病院での認知症診療をほぼ一人でこなしてきました。元々精神科外来もほとんど一人でやっていたため、物忘れ外来は月・火曜日の午後のみとしていましたが、ここ数年は、この2コマで年間260件を超える初診をこなしてきました。ただ、専門外来の枠とは言っても、病棟からの診察依頼や救急外来からの依頼は問答無用にくるため、必ずしもそれだけに集中できるというわけではなく、認知症診療に専念したいと考え、この度すこやかシルバー病院にお世話になることに決めました。

4月からすこやかシルバー病院に勤務し始めたわけですが、この12年間精神科の入院形態から離れていたため、2ヶ月近く経った現在も、戸惑うことが色々あり、皆さんにご迷惑をお掛けしているかと思いますが、長い目で見ていただければ幸いです。

高齢化の著しい日本では、認知症は非常に大きな社会問題であり、すこやかシルバー病院のような専門医療機関の重要性は今後ますます高まると考えられます。私も、少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思いますので、宜しくお願い致します。



看護師
吉岡 郁子

はじめまして、東病棟に配属になりました吉岡です。子供が1年生になるのを機に、自分も新たな職場での生活が始まりました。覚えることが沢山あり、メモが欠かせない日々ですが、新しいことを少しずつ吸収していきたいと思います。

すこやかシルバー病院は、緑に囲まれ自然豊かな環境であり、健康の森で散歩コースを開拓して行けたらいいなと思っています。

今後、認知症看護への学びを深め、患者さんに寄り添い、より良い看護を提供して行けるように頑張りますのでよろしくお願い致します。



看護師
岡田 美穂

今年4月より、東病棟で看護師として勤務させて頂いています、岡田美穂（みさき）と申します。

「超高齢化社会となり、今後も増えつつある認知症について学びたい。」「患者様とゆっくり関わる時間を持ちたい。」と思い、就職を決めました。

看護師1年目で知識・技術はまだ未熟で至らないところも多いと思いますが、患者様1人1人に丁寧に関わり、気持ちに寄り添い、自分自身が環境の一部となっていることを意識していきたいと思います。また、患者様をサポートするご家族のケアも出来る様、誠実に取り組んでいきたいと思いますので宜しくお願いします。



外来医師診療体制

	医師	伊藤 達彦	中野 葉子	村田 憲治	福島 慎二	上野 幹二
月曜日	午前		再 診	再 診		
	午後		(再 診)	初 診		
火曜日	午前	初診・再診	再 診		初診・再診	
	午後	再 診	再 診		初診・再診	
水曜日	午前	再 診	再 診	再 診		
	午後	再 診	初 診	再 診		
木曜日	午前	再 診	初 診	再 診		初診・再診(隔週)
	午後	再 診	再 診	再 診		
金曜日	午前	再 診		初 診		
	午後	再 診		再 診		

(平成27年9月～)



平成27年度 福井県立すこやかシルバー病院研修案内

一般の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
認知症の基礎知識と介護のポイント	10月16日(金)	13時30分～15時55分(13時から受付)	● 認知症の症状と治療 ● 認知症高齢者への介護のポイント	50名
認知症に関する制度と相談窓口	10月23日(金)	13時30分～15時40分(13時から受付)	● 介護保険制度について ● 困った時の相談窓口	50名
認知症を予防しよう！	10月30日(金)	13時30分～15時55分(13時から受付)	● 認知症を予防するための基礎知識 ● 心も体も元気に、健康に	50名

ケア専門職の方を対象にした研修 研修場所／福井県立すこやかシルバー病院 2階会議室

研修名	開催日	研修時間	主な研修内容	定員
認知症介護家族に対する援助	8月28日(金)	13時30分～15時40分(13時から受付)	● 認知症介護家族の悩み・負担感を軽減するための家族支援	70名
認知症の人を知るための情報収集	9月4日(金)	13時30分～15時40分(13時から受付)	● 認知症の人を理解するための情報収集の視点	70名
介護職員のメンタルヘルス	9月11日(金)	13時30分～15時40分(13時から受付)	● 介護職員のストレスを予防・低減するための方法	70名
災害時における認知症の方への支援	9月12日(土)	13時40分～17時(13時10分から受付)	● 災害時における認知症の方への避難所での具体的な支援方法	70名
若年認知症ケアの理解	9月18日(金)	13時40分～15時50分(13時10分から受付)	● 若年認知症当事者が望む支援 ● 高齢者とは異なる視点での環境づくり、配慮	70名
認知症の方とのコミュニケーション	9月25日(金)	13時30分～15時40分(13時から受付)	● 認知症の方とのコミュニケーションのポイント	70名
認知症高齢者の入浴困難に対する援助	10月2日(金)	13時30分～15時40分(13時から受付)	● 認知症高齢者の入浴困難に対する援助法	70名
認知症高齢者の徘徊、収集に対する援助	10月9日(金)	13時30分～15時40分(13時から受付)	● 認知症高齢者の徘徊、収集に対する援助法	70名
認知症の症状と治療	11月6日(金)	10時～12時20分(9時30分から受付)	● 認知症の症状と治療 ● 認知機能検査について	50名
認知症の基礎知識(初任者向け)	11月6日(金)	13時30分～16時40分(13時から受付)	● 認知症の基礎知識、ケアの理解 ● 事例検討	50名
認知症の原因疾患別ケア	11月10日(火)	9時30分～12時30分(9時から受付)	● 認知症原因疾患別ケア ● グループワーク	50名
認知症の進行段階別ケア	11月10日(火)	13時30分～16時40分(13時から受付)	● 認知症進行段階別ケア ● 事例検討	50名
高齢者の世界を体験しよう	11月20日(金)	10時～16時50分(9時30分から受付)	● 高齢者の特徴と合併症 ● 高齢者疑似体験(演習)	50名
認知症高齢者への作業療法	2月26日(金)	13時30分～15時(13時から受付)	● 認知症高齢者への作業療法 ● 演習	50名
高齢者への排泄援助とスキンケア	3月4日(金)	13時30分～16時(13時から受付)	● 高齢者への排泄援助とスキンケア ● 認知症高齢者への排泄援助の実際	50名
高齢者への食事援助	3月11日(金)	9時30分～12時(9時から受付)	● 高齢者への食事援助のポイント	50名
高齢者への口腔ケア	3月11日(金)	13時～15時30分(12時30分から受付)	● 高齢者の口腔ケア ● 認知症高齢者への口腔ケアの実際	50名
事例検討(認知症高齢者症例)	3月18日(金)	13時30分～16時(13時から受付)	● 認知症高齢者の対応について事例検討	40名
せん妄、うつ状態に対するケア	3月25日(金)	13時30分～16時30分(13時から受付)	● せん妄、うつ状態の特徴、背景、ケア	70名

ケア専門職の方を対象にした実習 実習場所／福井県立すこやかシルバー病院 認知症デイケア

実習名	開催日	実習時間
デイ・ケア実習	11月24日(火)～25日(水) 2日間	実習1日目: 9時30分～16時(午前9時から受付) 実習2日目: 10時～17時

お問合せ／福井県立すこやかシルバー病院 介護教育部 TEL (0776) 98-2700